

手芸倶楽部新聞

2015年
1月13日号
第22号

新年最初の手芸倶楽部は、七日からスタートしました。この日はショートステイユニットのリビングをお借りし、各々、好きな手芸を持ち寄り開催。編み物組、刺し子組、折り紙を使ったオブジェ制作を実施。十人程集まって十六時まで、あっという間のお裁縫タイムでした。



そして、一月十三日は皆さんが楽しみにしていた造花フラワーアレンジメントを一階地域交流室にて行いました。一月のお花は、椿に南天、松に、ねこやなぎ。器も紙粘土を使ってオリジナルの物をつくってみました。今回の造花は松が非常に硬くて、裁断にとても苦労したのですが、参加者も多くきてくださり、皆さん、満面の笑顔をを見せてくださるものですから、そんな苦労も吹っ飛んでしまいました。次回二月十日は桃の節句のアレンジです。



伊藤機能訓練指導員より

ボランティアさんやご家族も参加し活気のある時間となっています。多くの方が手先を動かし、笑顔になれる活動にしていきたいと思っています。

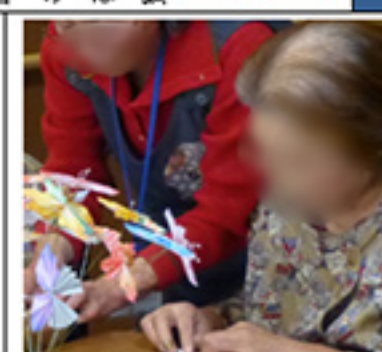
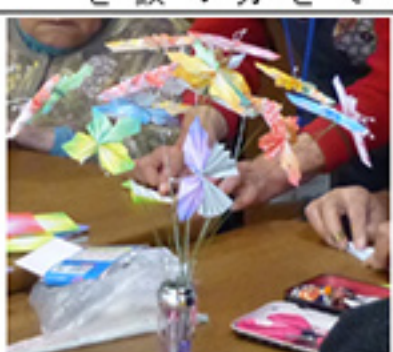
次回は一月二十一日(水)と二月四日(水)に、刺し子・編み物・裁縫を十五時より開催します。造花フラワーアレンジメントは、二月十日(火)十五時より開催いたします。ご家族様の参加も歓迎いたします。お気軽にお立ち寄りください。

手芸のツツ

編み物や刺し子は時間のかかる手芸ですが、できあがったときの達成感はそのだけの価値がある、うれしいものです。また、物忘れのある方でも、昔編物をしていた方ならば、手が覚えていくように、しっかり飽きずに大作を仕上げる事が出来ます。この様な方におすすめているのは、アームウォーマーやレッグウォーマー。最初の段階、職員が輪に編んでおけば、続きをぐるぐると編んでくださいます。

新メニュー紹介

ご利用者様のご家族様が、素敵な手芸の材料を寄付して下さいました。千代紙で蝶々を折り、それをフラワー細工の針金につけて仕上げる、素敵なオブジェです。編み物や縫い物はちょっと面倒だなどというご利用者様におすすめています。作り方は単純なのですが、たくさん作ると、とても見栄えのするオブジェです。ちょっと見学にいらした方におすすめて見ました。熱心に折って下さいました。やはり、おしゃべりするだけじゃ、もったいないですね。



編集後記：フラワーアレンジメントは毎回、30名近く参加されるようになりました。また、個別に材料をお渡しして好きな時にユニットで楽しまれる方も増えてきました。なので、たくさん購入するため、予約をして造花を注文するようにしています。参加を希望される方は、早めに参加表明してくださいね。次回二月十日(火)のフラワーアレンジは、なんとお雛様がのっているデザイン。サンプル見本を一階に置きますね。どうぞお楽しみに。

